

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 前田 徹証

- 1 日時 令和5年 10月27日(金) 3・4校時 3・4年生教室
- 2 学年 第4学年 5名
- 3 単元名 海の生き物探検に行こう！
- 4 単元について

(1) 単元観

大崎上島町は、きれいな海に囲まれた自然豊かな島々で構成されている。その自然が身の回りにあることが当然だと思ってしまうがちだが、そのことが素晴らしいことだと思っている児童は少ない。しかし、その山や海の自然がこの大崎上島町を訪れる人々に感動を与えているのは事実である。その自然の中の海の生き物に関心をもち、海に住む生き物の種類や生態、環境について調べ考えていくことは、4年生にとってとても大切なことである。この単元では、大崎上島町の海に誇りと愛着をもち、将来この大崎上島町を担う児童の育成と、自分自身も、大崎上島町の一員として、主体的に関わろうとする児童の姿を期待し、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童はこれまでに、地域の特色について調べ、3年生では「大崎上島町めぐり」に出かけ、大崎上島町で誇りをもって働く人たちとのふれあいを通して、この町の良さについて学習してきた。また児童は、美しい自然や造船・産業の歴史を知り、大崎上島町の人たちが、昔から海との関わりを大切にしていることを学んでいる。そんな中で、身の回りの海を大切にしていきたい、どんな生き物がこの海で生きて生活しているのかを知りたいという思いが高まってきた。その生き物を調べていくうちに、海の環境を守ることは大切なことだということ、それらの生き物の未来を考えていくことが、自分を含め、大崎上島町の未来につながっていくということを少なからず感じてきている。そして、海の生き物探検から学んだ経験をもとに、海の生き物図鑑を作っていこうという意見が多数出てきた。本単元の活動を通して、地域への誇りと、その未来のために考え行動していこうとする意欲をさらに高めていきたい。

(3) 指導観

指導に当たっては、大串海岸での「海の生き物探検」での実作業を基盤に、この島のまわりには、思いもよらない生き物がたくさんいることを知り、その生き物についてくわしく調べるための方法として、まわりの人の話を聞いたり、図鑑やインターネットを活用したりしながら、さらに様々な情報を収集していった。海の生き物を調べまとめていったことを、各自がスライドにまとめ、どのように発表すれば、海の生き物を大切にするにもつながるのかということも考えながら活動を行っていった。さらに、その経験をもとに、大崎上島のまわりにいる生き物を中心にしながら、海にはどんな生き物がいるのかということ調べて、海の生き物図鑑を作る作業につなげていきたい。そのことが、大崎上島町にいる海の生き物を大切にするだけでなく、地球上の全ての生き物を大切にしていこうということにつながっていくことを感じとらせていきたい。本時の学習では、これまで集めてきた資料をもとに、どのように発表していけばまわりの人のより良く伝わるかを

考えながら、情報を整理し、より良い提案になるように工夫していけるようにまとめていくことで、自己や友だちの良さ、頑張りを認める力も高めていきたい。

5 単元の目標

- どのように調べ、まとめていったらいいのかを考え実践することを通して、海の生き物とその大切さをまわりに伝えていくことができる。
- 適切な方法で情報を収集・整理し、内容を効果的にまとめることができる。
- 身近な人に尋ねたり友だちと関わったりしながら主体的に人と関わろうとする。

6 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

(○は本単元において育成しようとする資質・能力)

創造力		<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働しながら、よりよい知恵を出したり、修正・補足したりしながら物事を創造することができる。
豊かな思考力・判断力・表現力	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、協働的に問題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けることができる。 ・言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む)、問題発見・解決能力を身に付けることができる。 ・既存の知識や技能を活用して、問題解決を図っていく力を身に付けることができる。 ・自分の思いや考えを、相手意識や目的意識をもって、効果的な表現方法を用いて、分かりやすく表現することができる。
主体性	○	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも主体的に取り組み、意欲をもって行動することができる。
回復力・耐える力		<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況でも粘り強く取り組み、最後まで諦めずやりきることができる。
多様性・協働性・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・他者の価値観や多様性を尊重する態度を身に付け、協働して活動することができる。 ・他者と協働するためのリーダーシップやチームワークを身に付けることができる。
郷土を担う使命感	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島に魅力を感じ、ふるさとに誇りと愛着をもつことができる。 ・これからの大崎上島や将来の自分のためにできることは何かを考え、行動することができる。

7 単元の評価規準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	知識・技能	豊かな思考力・判断力・表現力 【自分の課題を見つけ、計画を立てて課題解決をする。】	主体性 【課題解決に向けて自分から進んで取り組む。】	郷土を担う使命感 【大崎上島のよさを見つけ、自分にできることを考える。】
A	①大崎上島の海にどのような生き物がどんな生活しているのか理解している。 ②情報機器等を使って、目的や対象に応じ適切に調べ学習をしている。 ③調べ学習を通して、大崎上島の海について知識の幅を広げ、探究的に学習することのよさに気付いている。	①課題を発見・分析し、自身の興味・関心に基づいて適切な計画を立てようとしている。 ②課題解決に必要な情報を、様々な手段を用い、効果的に取り入れている。 ③調べたことについて根拠を明らかにし、まわりの人に分かりやすくまとめようとしている。 ④調べて身に付けたことを、相手意識をもちながら、効果的に表現している。	①自身の活動を振り返りながら、次時の活動に生かそうとしている。 ②他者の考えを受け入れながら、協働的に活動しようとしている。	③大崎上島町の一員として海に誇りを持ち、何かできることはないかと考え、主体的に、そのことをまわりの人に伝えようと考えている。
B	①大崎上島の海にどんな生き物があるのかを理解している。 ②情報機器等を使って、目的に応じ適切に調べ学習をしている。 ③調べ学習を通して、大崎上島の海について知識の幅を広げている。	①課題を発見・分析し、適切な計画を立てようとしている。 ②課題解決に必要な情報を様々な手段を用い、取り入れている。 ③調べたことについて根拠を明らかにし、まとめようとしている。 ④調べて身に付けたことを効果的に表現している。	①自身の活動を振り返りながら、活動しようとしている。 ②他者の考えを受け入れながら、活動しようとしている。	③大崎上島町の一員として、何かできることはないかと考え、関わろうとしている。
C	①大崎上島の海にどんな生き物があるのかを理解していない。 ②情報機器等を使って目的に応じて適切に調べ学習ができていない。 ③調べ学習を通して、大崎上島の海について知識の幅を広げることができていない。	①課題を発見・分析し、適切な計画を立てることができない。 ②課題解決に必要な情報を、様々な手段を用いて取り入れていない。 ③調べたことについて根拠を明らかにしてまとめようとしていない。 ④調べて身に付けたことを効果的に表現していない。	①自身の活動を振り返りながら、活動しようとしていない。 ②他者の考えを受け入れながら、活動しようとしていない。	③大崎上島町の一員として、何かできることはないかと考えられず、関わろうとしていない。

8 本単元のパフォーマンス課題およびそのルーブリック

(1) パフォーマンス課題

海の生き物について調べ、学習発表会などで発信しよう。

(2) 指導計画 (全39時間)

時	学習内容	評価
第1次 課題の設定 整理・分析	1-4/39 ・大崎上島町の海について知っていることを話し合い、情報交換をする。 ・「海の生き物探検に行こう!」という課題を設定し、学習計画を立てる。	知 主
第2次 情報の収集	5-8/39 ・「大串海岸の海の生き物探検」を行い、大崎上島の海の生き物の実態調査をする。	思 主
第3次 整理・分析	9-11/39 ・生き物探検で見つけた海の生き物について、その生態をくわしく調べる。	知 主
	12, 13/39 ・十数年前に大崎上島にいた生き物ラミネート集をもとに、昔と今の生き物のちがいを見つけていく。	知 主
	14/39 ・生き物のちがいについて考えていく。	思 主
第4次 まとめ・創造・ 表現	15/39 ・発信の仕方を考える。	知 主
	16-18/39 ・発信のためのまとめをしていく。 (スライドにまとめていく)	思 主
	19-20/39 (本時) ・より良い発表にするために話し合う。 ・発表の練習をする。	知 主
第5次 課題の再設定	21, 22/39 ・これまでの発表を整理し、次の課題を考えていく。	知 主
第6次 情報の収集	23-28/39 ・様々な方法を活用して、自分独自の「海の生き物図鑑」を作るための情報を集めていく。	思 主
第7次 整理・分析	29-34/39 ・調べたことを整理し、発表ができるようにスライドにまとめていく。	思 主
	35-37/39 ・まとめたスライドを、みんなで確認し合う。	知
	38/39 ・確認したスライドを印刷し、「海の生き物図鑑」を完成させる。	知 主
第8次 まとめ・創造・ 表現	39/39 ・これまでの活動をふりかえるとともに、自分の生活や暮らしに生かせることを考えていく。	思 主

9 本時の授業について

(1) 本時の目標

○自分たちが作ったスライドを発表し合い、自己や友だちの良さ・頑張りを認めることができる。

○実際の発表に生かせる反省を、全員が持つことができる。

(2) 本時の展開 (19-20/39)

	学習活動	指導上の留意点(○)	評価規準【評価方法】
課題設定	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p>本時の課題</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">友だちの発表をよく聞き、より良い発表にしていこう。</p>		
情報収集	<p>2 それぞれの発表を聞き、改善点を確認する。</p> <p>○ひとりずつ発表をしていく。 ・発表が終わるごとに、気づきをメモしていく。 ・貝について ・魚について ・カニについて ・海藻について</p>	<p>○それぞれの発表をていねいに聞き、よかったことや改善点をメモする時間を確保する。</p>	
整理分析	<p>3 意見交換をする。</p> <p>○よかったこと・改善点を発表し合う。 ・内容についての発表を行う。</p> <p>○意見を聞いて、自分が感じていることも交流し合う。</p>	<p>○発表内容について吟味し、より分かりやすくなるように伝えていかせる。</p> <p>○言われたことを素直に受け入れることができるようにさせる。</p>	
まとめ 創造 表現 振り返り	<p>4 振り返りを書き、発表する。</p> <p>○ふりかえりを記述し発表する。 ・発表しきれなかった部分について、メモを渡す。</p> <p>5 次時への学習の見通しをもつ。</p> <p>○学習をもとに、より良い発表にできるようにしていく。</p> <p>○意見交換をもとに修正する。</p>	<p>○自分や友だちの良かった所についての振り返りをさせる。</p> <p>○実際の発表に生かせるように、一人ひとりが工夫できるように声をかける。</p>	<p>○大崎上島の海に住む生き物について調べ、その大切さを自分の力でまとめて、分かりやすくまわりに伝えようと考えている。</p> <p style="text-align: right;">【発言】</p>